

# 社会福祉・心理学と良心

## — コンパッションを手がかりとして —

人は一人では生きることにはできません。他者から助けってもらったり、他者を助けたりする互恵的な人間関係の基礎にはコンパッション（共感）があります。しかし同時に、閉じられた社会集団における共感が、他の集団に対する排他性や暴力に転化することもあります。本シンポジウムでは、社会福祉と心理学の視点から（経済学・生物学の視点も加えて）「良心」の隣接概念として重要なコンパッションに光を当て、現代社会の課題を共に考えていきます。

● 日時：2019年 **5月20日**（月）16:40 — 18:40

● 場所：同志社大学 今出川キャンパス 同志社礼拝堂

● 講演：

木原活信（同志社大学 社会学部 教授）

武藤 崇（同志社大学 心理学部 教授）

司会：小原克博（同志社大学 神学部 教授、  
良心学研究センター長）

コメンテーター：

八木 匡（同志社大学 経済学部 教授）

元山 純（同志社大学大学院 脳科学研究科 教授）



■ 問い合わせ 同志社大学 **良心学研究センター**

**CONSCIENCE**

E-mail: [rc-csc@mail.doshisha.ac.jp](mailto:rc-csc@mail.doshisha.ac.jp) <http://ryoshin.doshisha.ac.jp>

**良心を世界に—良心を覚醒させる知の連携と知の実践** 良心学研究センターは、現代世界における「良心」を考察し、その応用可能性・実践可能性を探求することを通じて、学際的な研究領域として「良心学」を構築し、さらにその成果を国内外に発信し、新たな学術コミュニティを形成することを目的としています。

## 講師略歴

### 木原活信 (きはら・かつのぶ)

同志社大学社会学部教授。博士（社会福祉学）。専門は福祉思想史・福祉哲学、ソーシャルワーク論。日本キリスト教社会福祉学会会長。日本社会福祉学会副会長、日本社会福祉学会系連合会長。社会福祉法人京都基督教福祉会、イエス団評議員。主著『J.アダムズの社会福祉実践思想の研究』（川島書 1998、福武直賞）、『対人援助の福祉エトス』（ミネルヴァ書房 2003）、『社会福祉と人権』（ミネルヴァ書房 2014）、『「弱さ」の向こうにあるもの』（いのちのこば社 2015）『自殺をケアするということ』（ミネルヴァ書房、2015）。近年、NHK「こころの時代」、「ラジオ深夜便」などに出演。

### 武藤 崇 (むとう・たかし)

1967年 埼玉県生まれ。1992年 筑波大学第二学群人間学類 卒業。1998年 同大学院 博士課程 心身障害学研究科 修了（博士（心身障害学））。1998-2000年 筑波大学研究協力部研究協力課 文部技官（心身障害学系配属）。2000-2001年 筑波大学心身障害学系 助手。2001-2010年 立命館大学文学部 准教授。2010年-現在 同志社大学心理学部 教授。

この間、米国ネバダ大学リノ校臨床心理学科・客員教授（2007-2008年）、東京大学医学部附属病院 22世紀医療センター腎疾患総合医療学講座・客員教員（2011年-現在）、同志社大学実証に基づく心理・社会的トリートメント研究センター（WEST）・センター長（2011年-現在）、名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野・客員教授（2017年-現在）などを歴任。公認心理師（2019年-現在）、臨床心理士（2001年-現在）。

専門：行動分析学（臨床心理学）。著書：「行動分析学事典」（共編著・丸善出版、2019年）、「55歳からのアクセプタンス&コミットメント・セラピー（ACT）：超高齢化社会のための認知行動療法の新展開」（編著・ratik、2017年）、「心理学からみた食べる行動：基礎から臨床までを科学する」（共編著者・北大路書房、2017年）など。

### 良心学研究センター主催 公開シンポジウムのご案内

#### ■ 「キリスト教主義大学における建学の精神——上智大学の取り組み、カトリックにおける良心」

日時：7月5日（金）16:40 - 18:40

場所：今出川キャンパス 同志社礼拝堂

講師：竹内修一（上智大学 神学部 教授）

コメンテーター：横井和彦（同志社大学 経済学部 教授、キリスト教文化センター 所長）、中村信博（同志社女子大学 学芸学部 教授）

#### ■ 「ニューロ・ダイバシティと良心——自閉症を神経構造の個性・多様性として見る」

日時：7月8日（月）16:40 - 18:40

場所：京田辺キャンパス 言館

講師：池上英子（ニュー・スクール大学院 社会学部 教授）、貫名信行（同志社大学大学院 脳科学研究科 教授）

コメンテーター：板倉昭二（同志社大学 赤ちゃん学研究センター 教授）、武藤 崇（同志社大学 心理学部 教授）

※ 同志社大学 良心学研究センター編『良心学入門』（岩波書店、2018年）好評発売中。









emotional empathy

cognitive empathy

pp. 46-47

7

1990

PTSD

2011 <https://imidas.jp/hotkeyword/detail/L-00-203-11-04-H004.html>

8

Cocker & Joss (2016)  
Slatten et al. (2011)

9

## セルフ・コンパッションの3要素

1. 自分への優しさ
2. 人としての共通体験
3. マインドフルネス

Neff (2003, 2006)

10

### 1. 自分への優しさ

= 自己批判せずに、自分自身に愛情を注ぐ側面  
(対義語 ; 自己批判)

11

### 2. 人間としての共通体験

= つらいことは自分のみに生じると思わず、誰も何かしら不完全な側面を持っているなど、他者との共通性を意識する側面  
(対義語 ; 孤独)

12

### 3. マインドフルネス

= 否定的感情に流されず、そのような感情や直面している苦難がどのようなものであるかを客観的に気づく側面  
(対義語 ; 過剰な同一化)